

株式会社 ジェイ・エム・エス

患者さんと医療従事者の方々、双方の視点に立ち、医療の安全と効率化に貢献できる医療機器の研究・開発に取り組んでいます。

事業の概要

医療機器、医薬品の製造・販売及び輸出並びに輸入

技術・製品の特徴

主要製造品・取扱商品

●医療分野で使用される幅広い製品群をラインナップ

輸液セット、シリンジ(注射筒)などをはじめとして、透析療法に使用される血液透析装置や腹膜透析液、心臓手術の際に使用される人工肺や人工心肺装置に至るまで、医療現場のニーズに応えた製品をシステムとして提供しています。

また、次世代事業への挑戦として、再生医療分野の製品開発も積極的に行っています。

●自社一貫生産体制を実現

医療現場の声を素早く製品開発に活かすため、製品の設計、試作から商業生産までを社内で行う「自社開発体制」を整え、原材料の配合から最終製品の滅菌に至るまで一貫して行う「自社生産体制」を実現しています。

—製品・技術、ME機器^(※)に関する研究開発

—プラスチック部品の原材料となる樹脂ペレットの生産

—プラスチック部品の成形

—滅菌設備、物流システムの構築

※ME機器:治療・診断などに用いられる電子機器・装置類のこと



輸液輸血分野

■静脈留置カテーテル「セーフウイングキャス」

輸液(点滴)治療で患者さんに医薬品を投与する際に用いられます。内針(金属針)が本体内部へ安全に収納される静脈留置カテーテルで、医療従事者の方々の針刺し事故の低減に貢献します。



循環器分野

■血液ポンプ「ミクスフロー」

心臓手術の際に、患者さんの心臓の働きを代行し血液を人工肺へ送るための医療機器です。世界最小サイズの体外循環血液ポンプで、内部の構造を工夫し血液の損傷を抑制。手術中の患者さんの体への負担軽減に配慮しています。



再生医療分野

■血液成分分離バッグ「セルエイド」

幹細胞の培養に必要とされる血清を安全・簡便に調製する製品です。再生医療の実現には、安全性の確保が重要な課題であり、「セルエイド」は、外気に触れず完全閉鎖系で、増殖因子を多く含む血清が調製できます。



透析分野

■血液透析装置「GC-110N」

血液透析において人工腎臓(透析器)に流れる血液および透析液を適正に管理、制御する装置です。「GC-110N」は、医療従事者の方々が透析前後に行う準備や大半の機器操作を自動化できる透析装置として、当社が先駆的に実用化しました。

企業概要

企業名	株式会社 ジェイ・エム・エス	メール	jms-qa@jms.cc
代表者	代表取締役社長 奥窪 宏章	ホームページ	http://www.jms.cc
所在地	〒730-8652 広島県広島市中区加古町12-17	資本金	74億円
電話	082-243-5844(代表)	許可・認証	ISO13485(医療機器専門の国際品質マネジメント規格)
FAX	082-243-5997	担当窓口	総務部